

学術報告

学術講演会報告

第38回福岡県北同窓会総会・学術講演会・懇親会

桃園 貴功 (15期生)

平成29年4月15日(土)、北九州市若松区にある旧古河鉱業若松ビルにて、第38回福岡県北同窓会総会及び学術講演会、懇親会が開催されました。

今回の学術講演会には、京都郡田町で御開業の松延允資先生をお招きして「当院におけるクラスプレデンチャーへの取り組み」という演題で講演をして頂きました。松延先生は、九州大学歯学部を御卒業後、産業医科大学歯科口腔外科入局、船越歯周病研究所勤務、松延歯科医院勤務を経て、平成23年、松延歯科医院を継承しております。また、アメリカ歯周病学会会員、日本歯周病学会専門医でありその他数多くの学会やスタディーグループに所属しており、多方面で御講演をされ大変活躍されている先生です。講演内容は、多数歯欠損補綴の選択肢として、予知性の高いインプラントが第一選択として挙げられる傾向にありますが、統計学的な調査や、実際の臨床では、部分床義歯が多数

を占めていると説明され、松延先生が、どのようにして予知性の高い部分床義歯を作成されているかについてお話しされました。

今回、日常臨床における頻度の高い部分床義歯がテーマであったため、参加者からの質疑も多く大変有意義な講演会となりました。簡単ではありますが、ご報告とさせていただきます。



松延允資先生



同窓生からの手紙

福岡市歯科医師会
会長就任の報告

神田 晋爾 (4期生)

福岡歯科大学第4期生として昭和57年に卒業後、福岡県歯科医師会理事、福岡市歯科医師会理事・副会長を経て、今期より本学地元の第31期福岡市歯科医師会会長に就任いたしました。これも偏に同窓会と福岡歯科大学の皆様の強い後押しと賜物と衷心より感謝申し上げます。

現在、日本は超高齢社会に突入し、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年を迎えようとしています。医療、介護、福祉サービスの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れる等の問題が指摘されている現在、医師会は、行政として手を組み医療制度の改革を着々と進めております。私共歯科医師会も、この動きに乗り遅れる事のないように、しっかりと対応できる組織への転換と事業実施体制の構築に取り組んでゆく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

最後になりますが、同窓会ならびに福岡歯科大学の皆様のご活躍とご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

卒業生 NOW

「カメラ」

泉福 浩志 (22期生)

皆様こんにちは。22期卒の泉福浩志と申します。平成21年に地元に戻り父のもとで勤務医をしておりましたが、昨年父が亡くなつてからは日々の診療とともに同窓会や歯科医師会の業務などを無我夢中で行う日々が続いております。

数年前にふとしたきっかけで一眼レフのデジタルカメラを購入しました。以前は携帯に便利だからとコンパクトデジタルカメラを使用していた時は手ぶれに悩まされておりましたが、一眼レフに替えてからはほぼ無くなり、快適に写真撮影が行えるようになりました。今ではプライベートはもちろん、歯科医師会や同窓会の仕事の場においても活躍しています。器材に頼らずに個人の技術を磨くことも大切だと思いますが、良い機材を有効利用するのも必要だと改めて感じました。これからも、色々な思い出を記録するために活用していこうと思います。

最後に、今年7月に発生した九州北部豪雨の被害にあわれた地域の方々の1日も早い復興をお祈り申し上げます。



九年庵(佐賀県神埼市神埼町)にて撮影

チーム医療を目指して早24年

福崎 達夫 (12期生)

こんにちは、12期生の福崎達夫です。大学卒業後、福岡県直方市の前田歯科医院にて勉強させていただきました。大分県大分市に平成5年に開業いたしました。実家は北九州市なのですが、両親の地元が大分県ということもあり大分で開業することになりました。開業当初、全く大分の事情がわからず困惑していました。今の大分県歯科医師会会長、一期生の長尾博道先生をはじめ多くの同窓生の先輩方に心温まるアドバイスをいただき感謝しております。

私の医院は、チーム医療を目指しています。実際はかなり大変で開業して24年、スタッフはもちろん患者さんや技工所、歯科材料店もまきこみながらいつも改善・改善(PDCAサイクル)の繰り返しです。少しでも地域の患者さんに今よりも、より良い治療ができないものか、日々悪戦苦闘しています。また研修医も受け入れています。私が習った頃よりも医療の概念等がかなり違い、ある意味私にとって良い勉強になります。最後になりましたが大分県同窓会の先生方には大変今もお世話になっており、また今までを振り返ってみても私は福岡歯科大学で学べたことが今の自分につながり感謝しています。

クリニックからこんにちは!

